

2014 年度 障害学生支援室 フィードバック結果より サポートスタッフ、障害学生の声

2014 年度に障害学生支援室で活動したサポートスタッフ及びサポートを受けた障害学生からのフィードバック内容（「共有可」とした部分のみ）を一部ご紹介します。

- 私は今期で初めて本格的にサポーターたちの LINE に参加したが、手軽にやりとりできてよかったと思う。重要なことはメールで行うという原則をきちんと守ることを約束できれば、今後も積極的に利用していきたいと思った。
- 立命館大学に通って 6 年目にして初めてサポートをすることになったのですが、もっと早くしたらよかったと少し後悔しています。今後もレポートが必要な人がいるのなら、学外学内を問わず少しでも手助けができるといいなと思います。
- 初めは友人に「アルバイトしない？」と誘われ、あまりよくわからないまま応募したサポートスタッフでしたが、サポートを通じて障害を持つ学生への理解が深まり、有意義な時間を過ごすことができました。このサポートシステムが存在することで、障害学生の皆さんは障害を持っていない学生と同じように授業を受け、勉強することができる（といっても、やはり視覚や聴覚を持ち勉強するのは大変なことだと思います。）ので、これからも多くの学生がこのサポートに参加して質の高いサポートを提供できることを願っています。
- 0 さんの振り返りノート制度はぜひやりたいです！
- 気付くとベテラン中のベテランになってしまいました。この一年間、どれほど経験を還元できたかわかりませんが、みなさんの役に立てていれば光栄です。今年度、多くのスタッフがあつまり、来年度はさらに発展できるかと思います。これまでの個人の活動から団体としての活動に移っていくことで、皆が積極的に考え、支援にかかわっていくことで、さらによくなっていくかと思います。私もまだ一年間いますので、修論等でどれほどかわかれるかわかりませんが、できる限り一緒にいたいと思います。一年間ありがとうございました。
- まだサポートをしたことがない、という人でも是非サポートに入っていただきたいです。余計に迷惑をかけるのでは、という不安を持っている方もいるかもしれませんが、私たち障害学生はサポートがあるのとないのとは、大きく違います。どうかよろしくお願いいたします。
- 今後はもう少しサポートスタッフ間のコミュニケーションをとれるようにしたい。
- マニュアル作りは、改めてノートテイクの勉強にもなって良かったです。